

ツバメオモト ユリ科

Clintonia udensis Trautv.et Mey

鳥取県：絶滅危惧 類 (CR+EN)

環境省： -

選定理由 減少顯著，生育環境悪化，採取圧，局限・孤立，分布限界，遺存性，希少性。

生態・形態 通常は亜高山帯針葉樹林内に生育する多年生草本。県内では氷ノ山にのみ分布。遺存植物。葉は根出葉のみ，倒卵状長楕円形，やや肉厚，長さ15～30cm，鈍頭～急鋭頭，中肋の凹入が顯著。花は5～6月，白色，短総状花序に数個，花被は長さ約1cm，花茎は20～30cm。果実は濃藍色，球形，径約1cm。花茎は花後2倍長に伸長。和名は果実の色をツバメの頭の色に見立てたもの。

分布 北海道，本州近畿以北。

(県内) 氷ノ山。分布西限。

保護上の留意点 嚴重な採取防止。氷ノ山一帯の自然林の保護。

